

野村ニュージーランド債券ファンド (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第29期(決算日2017年3月13日) 第30期(決算日2017年4月12日) 第31期(決算日2017年5月12日)
第32期(決算日2017年6月12日) 第33期(決算日2017年7月12日) 第34期(決算日2017年8月14日)

作成対象期間(2017年2月14日～2017年8月14日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2014年9月10日から2024年8月13日までです。	
運用方針	ニュージーランド債券オープン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてニュージーランドドル建ての公社債に投資し、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。	
主な投資対象	野村ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	ニュージーランドドル建ての公社債(国際機関債、政府機関債、準政府債(州政府債)、国債、社債等)を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
	マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
5期(2015年3月12日)	10,528		30		0.9	97.7	—	686	
6期(2015年4月13日)	10,781		30		2.7	97.6	—	704	
7期(2015年5月12日)	10,454		30		△2.8	98.0	—	685	
8期(2015年6月12日)	10,210		30		△2.0	97.8	—	671	
9期(2015年7月13日)	9,860		30		△3.1	97.7	—	838	
10期(2015年8月12日)	9,897		30		0.7	98.0	—	847	
11期(2015年9月14日)	9,238		30		△6.4	97.3	—	792	
12期(2015年10月13日)	9,648		30		4.8	97.3	—	827	
13期(2015年11月12日)	9,673		30		0.6	98.2	—	829	
14期(2015年12月14日)	9,670		30		0.3	98.3	—	824	
15期(2016年1月12日)	9,246		30		△4.1	97.8	—	603	
16期(2016年2月12日)	9,095		30		△1.3	98.1	—	593	
17期(2016年3月14日)	9,333		30		2.9	97.6	—	609	
18期(2016年4月12日)	9,043		30		△2.8	97.3	—	590	
19期(2016年5月12日)	9,067		30		0.6	98.0	—	591	
20期(2016年6月13日)	9,165		30		1.4	97.5	—	597	
21期(2016年7月12日)	9,165		30		0.3	97.8	—	596	
22期(2016年8月12日)	9,134		30		△0.0	97.3	—	625	
23期(2016年9月12日)	9,315		30		2.3	96.9	—	606	
24期(2016年10月12日)	8,940		30		△3.7	97.5	—	579	
25期(2016年11月14日)	9,092		30		2.0	91.5	—	589	
26期(2016年12月12日)	9,721		30		7.2	95.3	—	337	
27期(2017年1月12日)	9,617		30		△0.8	97.7	—	226	
28期(2017年2月13日)	9,698		30		1.2	97.6	—	214	
29期(2017年3月13日)	9,354		30		△3.2	97.3	—	202	
30期(2017年4月12日)	9,068		30		△2.7	96.2	—	197	
31期(2017年5月12日)	9,271		30		2.6	97.7	—	201	
32期(2017年6月12日)	9,540		30		3.2	97.5	—	207	
33期(2017年7月12日)	9,773		30		2.8	97.8	—	212	
34期(2017年8月14日)	9,629		30		△1.2	96.9	—	209	

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第29期	(期 首) 2017年2月13日	9,698		—	97.6		—
	2月末	9,604		△1.0	97.4		—
	(期 末) 2017年3月13日	9,384		△3.2	97.3		—
第30期	(期 首) 2017年3月13日	9,354		—	97.3		—
	3月末	9,318		△0.4	96.0		—
	(期 末) 2017年4月12日	9,098		△2.7	96.2		—
第31期	(期 首) 2017年4月12日	9,068		—	96.2		—
	4月末	9,104		0.4	97.2		—
	(期 末) 2017年5月12日	9,301		2.6	97.7		—
第32期	(期 首) 2017年5月12日	9,271		—	97.7		—
	5月末	9,472		2.2	98.0		—
	(期 末) 2017年6月12日	9,570		3.2	97.5		—
第33期	(期 首) 2017年6月12日	9,540		—	97.5		—
	6月末	9,824		3.0	97.5		—
	(期 末) 2017年7月12日	9,803		2.8	97.8		—
第34期	(期 首) 2017年7月12日	9,773		—	97.8		—
	7月末	9,909		1.4	96.8		—
	(期 末) 2017年8月14日	9,659		△1.2	96.9		—

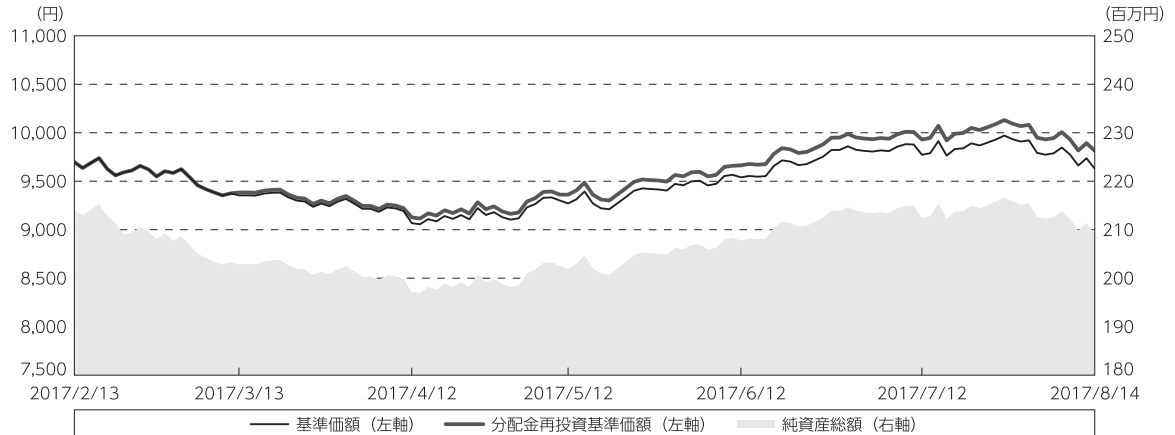
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2017年2月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- （上昇要因）・保有する債券の価格が上昇したこと。
 ・債券保有による利息収入を得られたこと。
- （下落要因）・ニュージーランドドルが対円で下落したこと。

○投資環境

ニュージーランドドルについては、主要な輸出品である乳製品価格が高水準での推移となったことなどを背景に堅調な推移となったものの、トランプ米大統領の政策に対する期待が後退したことや、北朝鮮情勢の不透明感が強まったことなどから、対円で下落となりました。

債券については、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）の政策金利据え置きが続くなか、トランプ米大統領の政策に対する期待が後退したことなどを背景に、債券利回りは低下（価格は上昇）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ニュージーランド債券オープン マザーファンド]

<ファンドデュレーション>

RBNZの政策金利据え置きが続くなか、デュレーションを前作成期末から若干長期化しました。当作成期末時点でのファンドのデュレーション^(※)は、4.6年としています。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案して、高格付けの国際機関債や政府機関債を中心としたポートフォリオとしました。

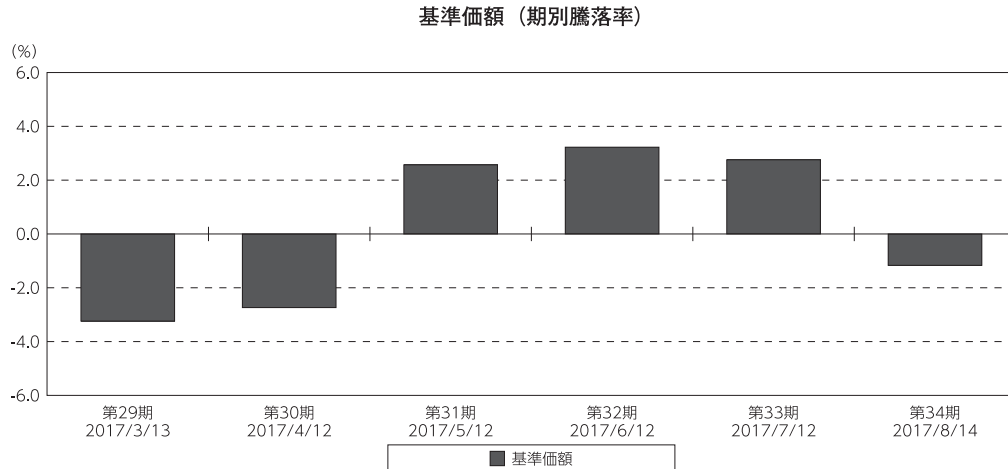
[野村ニュージーランド債券ファンド（毎月分配型）]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金については、利子配当収入や基準価額水準等を勘案し、決定いたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2017年2月14日～ 2017年3月13日	2017年3月14日～ 2017年4月12日	2017年4月13日～ 2017年5月12日	2017年5月13日～ 2017年6月12日	2017年6月13日～ 2017年7月12日	2017年7月13日～ 2017年8月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.320%	30 0.330%	30 0.323%	30 0.313%	30 0.306%	30 0.311%
当期の収益	24	25	30	30	30	29
当期の収益以外	5	4	—	—	—	0
翌期繰越分配対象額	841	837	839	844	850	850

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[ニュージーランド債券オープン マザーファンド]

ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

・投資戦略

<ファンドデュレーション>

グローバルな経済環境の変化やニュージーランドの政策金利見通しを見極めながらコントロールします。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案してアロケーションを決定します。足元の環境では、引き続き国際機関債／政府機関債を中心としたポートフォリオとする見込みです。

[野村ニュージーランド債券ファンド（毎月分配型）]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年2月14日～2017年8月14日)

項 目	第29期～第34期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 53	% 0.555	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(26)	(0.269)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.269)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0.563	
作成期間の平均基準価額は、9,538円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年2月14日～2017年8月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第29期～第34期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千口 756	千円 800	千口 8,679	千円 9,379

* 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年2月14日～2017年8月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年8月14日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第28期末	第34期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
ニュージーランド債券オープン	マザーファンド	196,139	188,216	208,694

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年8月14日現在)

項	目	第34期末	
		評価額	比率
		千円	%
ニュージーランド債券オープン	マザーファンド	208,694	99.4
コール・ローン等、その他		1,251	0.6
投資信託財産総額		209,945	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ニュージーランド債券オープン マザーファンドにおいて、第34期末における外貨建て純資産（3,701,793千円）の投資信託財産総額（3,789,463千円）に対する比率は97.7%です。

*外貨建て資産は、第34期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ニュージーランドドル＝80.10円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末
	2017年3月13日現在	2017年4月12日現在	2017年5月12日現在	2017年6月12日現在	2017年7月12日現在	2017年8月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	203,620,564	197,980,129	202,728,393	208,604,122	213,431,180	209,945,742
コール・ローン等	1,233,915	1,273,402	1,335,431	1,255,296	1,286,626	251,512
ニュージーランド債券オープン マザーファンド(詳細欄)	202,386,649	196,706,727	201,392,962	207,348,826	211,944,554	208,694,230
未収入金	—	—	—	—	200,000	1,000,000
(B) 負債	828,829	850,839	836,036	847,051	1,071,565	866,816
未払収益分配金	650,398	652,151	653,281	653,334	651,888	651,393
未払解約金	—	13,772	—	—	225,299	—
未払信託報酬	178,092	184,570	182,411	193,349	194,012	215,017
未払利息	1	1	1	1	1	—
その他未払費用	338	345	343	367	365	406
(C) 純資産総額(A－B)	202,791,735	197,129,290	201,892,357	207,757,071	212,359,615	209,078,926
元本	216,799,536	217,383,716	217,760,655	217,778,307	217,296,155	217,131,281
次期繰越損益金	△ 14,007,801	△ 20,254,426	△ 15,868,298	△ 10,021,236	△ 4,936,540	△ 8,052,355
(D) 受益権総口数	216,799,536口	217,383,716口	217,760,655口	217,778,307口	217,296,155口	217,131,281口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,354円	9,068円	9,271円	9,540円	9,773円	9,629円

(注) 第29期首元本額は220,814,559円、第29～34期中追加設定元本額は1,838,191円、第29～34期中一部解約元本額は5,521,469円、1口当たり純資産額は、第29期0.9354円、第30期0.9068円、第31期0.9271円、第32期0.9540円、第33期0.9773円、第34期0.9629円です。

○損益の状況

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2017年2月14日～ 2017年3月13日	2017年3月14日～ 2017年4月12日	2017年4月13日～ 2017年5月12日	2017年5月13日～ 2017年6月12日	2017年6月13日～ 2017年7月12日	2017年7月13日～ 2017年8月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 3	△ 7	△ 13	△ 8	△ 4	△ 4
支払利息	△ 3	△ 7	△ 13	△ 8	△ 4	△ 4
(B) 有価証券売買損益	△ 6,623,266	△ 5,370,354	5,256,235	6,694,979	5,907,485	△ 2,253,011
売買益	52,757	203	5,256,235	6,696,451	5,925,728	7
売買損	△ 6,676,023	△ 5,370,557	—	△ 1,472	△ 18,243	△ 2,253,018
(C) 信託報酬等	△ 178,430	△ 184,915	△ 182,754	△ 193,716	△ 194,377	△ 215,423
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,801,699	△ 5,555,276	5,073,468	6,501,255	5,713,104	△ 2,468,438
(E) 前期繰越損益金	△ 5,622,348	△ 13,073,352	△ 19,280,779	△ 14,846,292	△ 8,970,872	△ 3,903,566
(F) 追加信託差損益金	△ 933,356	△ 973,647	△ 1,007,706	△ 1,022,865	△ 1,026,884	△ 1,028,958
(配当等相当額)	(5,662,168)	(5,712,881)	(5,745,594)	(5,759,799)	(5,758,178)	(5,764,359)
(売買損益相当額)	(△ 6,595,524)	(△ 6,686,528)	(△ 6,753,300)	(△ 6,782,664)	(△ 6,785,062)	(△ 6,793,317)
(G) 計(D+E+F)	△ 13,357,403	△ 19,602,275	△ 15,215,017	△ 9,367,902	△ 4,284,652	△ 7,400,962
(H) 収益分配金	△ 650,398	△ 652,151	△ 653,281	△ 653,334	△ 651,888	△ 651,393
次期繰越損益金(G+H)	△ 14,007,801	△ 20,254,426	△ 15,868,298	△ 10,021,236	△ 4,936,540	△ 8,052,355
追加信託差損益金	△ 933,356	△ 973,647	△ 1,007,706	△ 1,022,865	△ 1,026,884	△ 1,028,958
(配当等相当額)	(5,662,654)	(5,714,041)	(5,746,257)	(5,760,281)	(5,758,560)	(5,764,751)
(売買損益相当額)	(△ 6,596,010)	(△ 6,687,688)	(△ 6,753,963)	(△ 6,783,146)	(△ 6,785,444)	(△ 6,793,709)
分配準備積立金	12,588,265	12,483,432	12,537,203	12,641,158	12,718,867	12,696,159
繰越損益金	△ 25,662,710	△ 31,764,211	△ 27,397,795	△ 21,639,529	△ 16,628,523	△ 19,719,556

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年2月14日～2017年8月14日)は以下の通りです。

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2017年2月14日～ 2017年3月13日	2017年3月14日～ 2017年4月12日	2017年4月13日～ 2017年5月12日	2017年5月13日～ 2017年6月12日	2017年6月13日～ 2017年7月12日	2017年7月13日～ 2017年8月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	541,498円	548,369円	707,052円	769,351円	768,232円	648,505円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金相抵後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,662,654円	5,714,041円	5,746,257円	5,760,281円	5,758,560円	5,764,751円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	12,697,165円	12,587,214円	12,483,432円	12,525,141円	12,602,523円	12,699,047円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	18,901,317円	18,849,624円	18,936,741円	19,054,773円	19,129,315円	19,112,303円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	871円	867円	869円	874円	880円	880円
g. 分配金	650,398円	652,151円	653,281円	653,334円	651,888円	651,393円
h. 分配金(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

○分配金のお知らせ

	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
1万円当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

- ①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2017年8月14日現在）

＜ニュージーランド債券オープン マザーファンド＞

下記は、ニュージーランド債券オープン マザーファンド全体(3,331,438千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第34期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 41,300	千ニュージーランドドル 44,746	千円 3,584,205	% 97.0	% —	% 55.2	% 40.7	% 1.1
合 計	41,300	44,746	3,584,205	97.0	—	55.2	40.7	1.1

*邦貨換算金額は、第34期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		第34期末				
		利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	6.0	1,800	2,050	164,210	2021/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5	1,000	1,162	93,133	2023/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	2,700	3,082	246,915	2027/4/15
地方債証券	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6.0	2,000	2,234	178,959	2021/5/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	5.5	3,300	3,770	302,044	2023/4/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	5,300	5,734	459,332	2027/4/15
特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEVELOPMENT BANK	3.5	2,000	2,016	161,481	2024/5/30
	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN	5.0	2,500	2,660	213,142	2020/9/16
	INTL BK RECON & DEVELOP	4.625	3,700	3,960	317,225	2021/10/6
	KOMMUNALBANKEN AS	5.125	500	538	43,156	2021/5/14
	KOMMUNALBANKEN AS	3.375	3,000	2,997	240,059	2023/6/7
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	5.375	6,000	6,698	536,517	2024/4/23
普通社債券 (含む投資法人債券)	AUST & NZ BANKING GROUP	5.125	1,300	1,359	108,919	2019/12/8
	COMMONWEALTH BANK AUST	5.125	500	521	41,794	2019/8/1
	NATIONAL AUSTRALIA BANK	5.625	1,500	1,590	127,390	2019/11/22
	ROYAL BANK OF CANADA	4.625	1,400	1,455	116,545	2020/1/17
	WESTPAC SECURITIES NZ LT	5.125	1,800	1,882	150,797	2019/10/3
	WESTPAC SECURITIES NZ LT	4.25	1,000	1,030	82,576	2020/4/15
合計					3,584,205	

*邦貨換算金額は、第34期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

ニュージーランド債券オープン マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日2017年2月13日）

作成対象期間（2016年2月13日～2017年2月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。 投資する公社債は、原則として、投資時点においてBBB一格相当以上の格付け（投資適格格付け）を有する公社債、または同等の信用度を有すると判断される公社債とします。
主な投資対象	ニュージーランドドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
(設定日) 2014年8月29日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 1,613
1期(2015年2月12日)	10,686		6.9	97.9	—	6,103
2期(2016年2月12日)	9,718		△ 9.1	98.3	—	5,466
3期(2017年2月13日)	10,895		12.1	97.8	—	4,138

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2016年2月12日	円 9,718		% —	% 98.3	% —
2月末	9,709		△ 0.1	98.1	—
3月末	10,180		4.8	97.7	—
4月末	9,964		2.5	98.1	—
5月末	9,882		1.7	98.5	—
6月末	9,789		0.7	97.9	—
7月末	10,023		3.1	98.1	—
8月末	10,155		4.5	97.6	—
9月末	9,929		2.2	97.3	—
10月末	10,034		3.3	97.8	—
11月末	10,628		9.4	98.6	—
12月末	10,635		9.4	97.2	—
2017年1月末	10,898		12.1	97.9	—
(期末) 2017年2月13日	10,895		12.1	97.8	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,718円から期末10,895円となりました。

(上昇要因)

- ・ ニュージーランドドルが対円で上昇したこと。
- ・ 債券保有による利息収入を得られたこと。

(下落要因)

- ・ 保有する債券の価格が下落したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

<ファンドデュレーション>

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）の利下げ局面が終了したとの見方が広がるなか、デュレーションを前期末から変わらずとしました。期末時点でのファンドのデュレーション^(※)は、4.3年としています。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

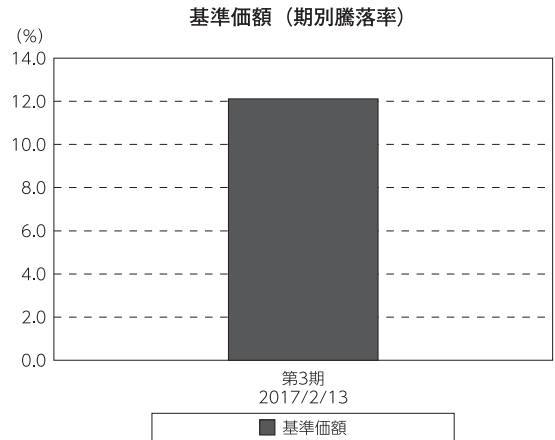
<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案して、高格付けの国際機関債や政府機関債を中心としたポートフォリオとしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを示す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

・投資戦略

<ファンドデュレーション>

グローバルな経済環境の変化やニュージーランドの政策金利見通しを見極めながらコントロールします。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案してアロケーションを決定します。足元の環境では、引き続き国際機関債/政府機関債を中心としたポートフォリオとする見込みです。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年2月13日～2017年2月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.016	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、10,152円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年2月13日～2017年2月13日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
外 国	ニュージーランド	国債証券	9,628 24,908
		地方債証券	8,477 7,446
		特殊債券	9,481 13,171
		社債券（投資法人債券を含む）	— 3,149

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2016年2月13日～2017年2月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年2月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	%	%	%	%	%
ニュージーランド	46,600	49,339	4,046,322	97.8	—	41.9	52.0	3.9
合 計	46,600	49,339	4,046,322	97.8	—	41.9	52.0	3.9

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5	2,200	2,533	207,766	2023/4/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	200	222	18,211	2027/4/15	
地方債証券	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6.0	3,000	3,327	272,921	2021/5/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	5.5	4,000	4,502	369,209	2023/4/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	4,300	4,499	368,980	2027/4/15	
特殊債券 (除く金融債)	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN	5.0	2,500	2,632	215,893	2020/9/16	
	INTL BK RECON & DEVELOP	3.5	3,000	3,024	248,010	2021/1/22	
	INTL BK RECON & DEVELOP	4.625	3,700	3,893	319,300	2021/10/6	
	KOMMUNALBANKEN AS	5.0	1,200	1,249	102,461	2019/3/28	
	KOMMUNALBANKEN AS	5.125	2,700	2,869	235,362	2021/5/14	
	KOMMUNALBANKEN AS	3.375	3,000	2,901	237,972	2023/6/7	
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	5.375	6,000	6,489	532,212	2024/4/23	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	AUST & NZ BANKING GROUP	5.625	1,400	1,470	120,600	2019/10/22
AUST & NZ BANKING GROUP	5.125	1,300	1,348	110,552	2019/12/8		
COMMONWEALTH BANK AUST	5.25	1,900	1,957	160,551	2018/10/15		
COMMONWEALTH BANK AUST	5.125	500	518	42,511	2019/8/1		
NATIONAL AUSTRALIA BANK	5.625	1,500	1,579	129,563	2019/11/22		
ROYAL BANK OF CANADA	4.625	1,400	1,433	117,524	2020/1/17		
WESTPAC SECURITIES NZ LT	5.125	1,800	1,867	153,185	2019/10/3		
WESTPAC SECURITIES NZ LT	4.25	1,000	1,018	83,531	2020/4/15		
合 計					4,046,322		

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年2月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 4,046,322	% 96.2
コール・ローン等、その他	157,979	3.8
投資信託財産総額	4,204,301	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（4,192,058千円）の投資信託財産総額（4,204,301千円）に対する比率は99.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ニュージーランドドル=82.01円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年2月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,270,071,375
コール・ローン等	25,829,417
公社債(評価額)	4,046,322,986
未収入金	139,775,879
未収利息	57,425,730
前払費用	717,363
(B) 負債	131,930,010
未払金	66,420,000
未払解約金	65,510,000
未払利息	10
(C) 純資産総額(A-B)	4,138,141,365
元本	3,798,194,250
次期繰越損益金	339,947,115
(D) 受益権総口数	3,798,194,250口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,895円

(注) 期首元本額は5,625,174,642円、期中追加設定元本額は180,794,410円、期中一部解約元本額は2,007,774,802円、1口当たり純資産額は1.0895円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月分配型) 1,606,219,806円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月分配型) 886,181,468円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし>(年2回決算型) 571,863,340円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ>(年2回決算型) 431,842,528円
- ・野村ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型) 196,139,578円
- ・野村ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型) 105,947,530円

○損益の状況 (2016年2月13日～2017年2月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	249,523,217
受取利息	249,529,527
支払利息	△ 6,310
(B) 有価証券売買損益	300,490,964
売買益	431,381,200
売買損	△130,890,236
(C) 保管費用等	△ 796,454
(D) 当期損益金(A+B+C)	549,217,727
(E) 前期繰越損益金	△158,881,004
(F) 追加信託差損益金	△ 2,694,410
(G) 解約差損益金	△ 47,695,198
(H) 計(D+E+F+G)	339,947,115
次期繰越損益金(H)	339,947,115

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2017年8月14日現在)

年 月	日
2017年8月	—
9月	—
10月	23
11月	—
12月	25、26

※2017年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。